

## 2018年 夏 留学報告書

2018年7月7日

London School of Economics/CEP

武田 航平

晴れ渡った日が続き、昼間の公園は日光浴やピクニックを楽しむ人で埋まっているような季節になってきました。今年は例年よりも特に暑くなりそうです。さて、3年目も終わりに近づいているロンドンから近況報告です。

### 1. LSE3年目

LSEのPhD3年目は、授業を受ける最後の年になります。2017/18は、産業組織論 (Industrial Organization, IO) をとりました。当初、3年目にもなって授業をとらなければならない (i.e., 課題も提出しないとイケない) というのはあまり気が進みませんでした。IOは充実した内容で、手法面でも将来の研究にも役立つ可能性があることも学べたので結果的には良かったと思います。これで、LSEで取らなければならない授業は終了し、来年度からはセミナーとティーチング以外は100パーセント研究に時間を割ける環境が整いました。

さて、この夏は溜まっている研究を、パラレルに、確実に進めていきたいと考えています。一つ目の研究は、インフラネットワーク (e.g., 高速道路、高速鉄道など) の整備とその経済集積に対する影響に関する実証研究です。データは日本の1970年から2015年までの交通網整備を用い、それが人口集積、産業集積、および研究開発にどう貢献しているかを見ています。経済学では、日本のデータを用いた研究は少ないですが、インフラ整備という点に関して言えば、先進国の中でも日本は歴史もあり、規模も大きいので、日本のデータを用いた分析にも比較優位があるように感じます。この研究は実証研究ですが、近年理論面から研究が進んでいる、多地域NEG (New Economic Geography) モデル、および Quantitative Spatial Economics に対してそのモデルの振る舞いを実際のデータで説明できるか、という意味で理論モデルと現実の経済政策をつなげることが目標です。8月中には第一稿を書くのが目下の目標です。

別の研究では、都市内における犯罪の分布について、経済学のモデルをベースに理論、実証の両面からそのメカニズムを明らかにすることを目標にしています。とりわけ、南米の大都市 (リオデジャネイロ、サンパウロ、ブエノスアイレス、メキシコシティなど) では都市人口の増加に伴い、スラムの形成と犯罪の増加が深刻な問題になっています。犯罪と一言で言っても、ドラッグなど (やや) 組織的なものから、窃盗、強盗、殺人など多種多様ありますが、ブラジルはこれらに関するデータが非常に充実しています。実際に、ブラジルでは犯罪の発生状況を見られる携帯アプリが人気らしいです。そこで、僕たちはこの犯罪のデータ

を用いて、都市内のどのような場所でどのような犯罪が発生しているのか (**Hotspot**) を同定し、その空間分布を説明するモデルを推定するというようなことをやっています。目標としては、その推定に基づき反実仮想 (**counterfactual**) シミュレーションを行い政策インプリケーションを出す (**e.g.**, 都市内のメトロ整備が犯罪の分布をどう変えるか) のことです。目下、データ整備と誘導系、モデルの山を迎えています、年内に第一稿をあげたいところです。

他にも、都市内でのセグリゲーションに関するロンドンの研究や、貿易のルーツに関する研究も現在進行中ですが、少し長くなりそうなので次の機会にまわしたいと思います。

## 2. 夏季休暇

6月中旬から8月にかけては、ヨーロッパのほとんどの大学が長期の夏季休暇に入ります。サマースクールのティーチング等がなければ、**PhD** の学生は、バカンスを挟みつつ自分の研究を進めていくこととなります。同時に、この時期はさまざまな分野のサマースクールやワークショップが、ヨーロッパ各地で開かれます。僕は、6月下旬にスペインのバルセロナで行われた、都市経済学のサマースクールおよびワークショップに参加しました。サマースクールは3日間、朝から晩まで講義とプレゼンを通じてフロンティアの研究を学ぶことが目的ですが、それ以上に、この分野を学んでいる **PhD** の学生を一同に集めて、フォーマル、インフォーマルな場で互いの研究を議論できるという時間は非常に有意義でした。特に他分野と違って空間経済や都市経済は分野として大きくないので、このような場での横のつながりも非常に重要だと思います。今年は参加者のレベルも高く（アメリカからの参加者も多かった）、将来ここで知り合った友人たちと分野のフロンティアを拓いていけるように研鑽していきたいと、思いを新たにしました。



バルセロナでのディナー。著者は中央。

さて、ロンドンで迎える3回目の夏を前に、時間の使い方を計画的にして、溜まっている研究および研究ネタを一つ一つものにするよう、益々精進していきます。